

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名: **コンポトップAU遮熱 主剤 C-1004グレー**  
製品種類: アクリルウレタン樹脂塗料  
使用上の制限: 防水用  
会社名: シーカ・ジャパン株式会社  
住所: 東京都港区元赤坂 1 丁目 2 番 7 号 赤坂 K タワー 7F  
電話: 03-6434-7291  
緊急連絡先電話: Sikaテクニカルセンター 047-436-0811  
SDS No.: 606211032-1

### 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分外

急性毒性(経皮): 区分外

急性毒性(吸入: ガス): 分類できない

急性毒性(吸入: 蒸気): 区分 4

急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト): 区分外

皮膚腐食性及び刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 2

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 区分外

生殖細胞変異原性: 区分外

発がん性: 区分外

生殖毒性: 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1、区分 2、区分 3

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

吸引性呼吸器有害性: 分類対象外

環境有害性

水生環境有害性(急性): 区分 2

水生環境有害性(長期間): 区分 3

オゾン層への有害性: 分類できない



注意喚起語: 危険

#### 危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気  
吸入すると有害  
皮膚刺激  
強い眼刺激  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
授乳中の子に害を及ぼすおそれ  
臓器(腎臓,肝臓,呼吸器,中枢神経系)の障害  
臓器(呼吸器,中枢神経系)の障害のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器,腎臓,中枢神経系)の障害  
水生生物に毒性  
長期継続的影響によって水生生物に毒性

#### 注意書き

##### 安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。  
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。  
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。ー禁煙。  
容器を接地する/アースをとる。  
静電気放電に対する予防措置を講ずる。火災を発生しない工具を使用する。  
取扱い後は手洗い・うがいをする。  
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。  
環境への放出を避ける。  
容器は密閉しておく。

##### 応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。  
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。  
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。  
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。  
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受ける。  
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。  
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。  
漏出物を回収する。

##### 保管

施錠して保管する。  
直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

##### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物  
化学名 :データなし

成分名	含有量(%)	CAS No.
酸化チタン	10-20	13463-67-7
トルエン	15.02	108-88-3
キシレン	13.79	1330-20-7
エチルベンゼン	(6.89)	(100-41-4)
キシレン	(6.89)	(1330-20-7)
酢酸ブチル	10-20	123-86-4
シクロヘキサノン	0.49	108-94-1
アクリル樹脂	30-40	データなし
Pigment Blue28(Coとして30%)	2.67	1345-16-0
コバルトとして	(0.80)	データなし

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。

呼吸が不規則、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに 医師の診断を受けること。

症状が改善されない場合は、医師に連絡すること

呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

#### 皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を布で素早く拭き取る。

大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーなどは使用しないこと。

外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

気分が悪い時には医師の診断を受けること。

直ちに、すべての汚染された衣類を取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと、直ちに医師に連絡すること。

#### 目に入った場合

直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

直ちに医師の診断を受けること。

#### 飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外には無理に吐かせないこと。

#### 最も重要な徴候及び症状

データなし

#### 応急措置をする者の保護

適切な保護具(保護メガネ、保護マスク、手袋等)を着用する。

換気を行う。

### 5. 火災時の措置

#### 適切な消火剤

炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、霧状強化液

#### 不適切な消火剤

棒状の水を消火に用いてはならない。

特有の危険有害性  
データなし

特有の消火方法  
指定の消火剤を使用する。  
高温にさらされた密閉容器は水をかけて冷却する。  
消火活動は風上から行う。

消火を行う者の保護  
適切な保護具(耐熱性着衣)などを着用する。  
安全に対処できるのであれば可燃性の物を周囲から素早く取り除く。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具(保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。  
屋内では換気をしっかり行う。  
屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。  
周辺を立入禁止にして、関係者以外を近づけないようにして、二次災害を防止する。  
付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。  
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項

河川への流出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。  
付着物、廃棄物などは、寒冷法令に基づいて処置すること。  
乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸着させて回収する。大量の漏出には盛土で囲って流出を防止する。

二次災害の防止策

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。  
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。  
密封した場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業をすること。

(火災・爆発の防止)

使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄まで水に漬けておくこと。  
周囲で、火気、スパーク、高温物等の使用を禁止する。  
工具は火花防止型を使用する。  
静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型(安全増)を使用する。

局所排気、全体換気

換気のよい場所で取り扱う。

注意事項

取扱後は、手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。

安全取扱注意事項

容器はその都度密閉する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

日光の直射をさける。  
通風のよいところに保管する。  
盗難防止のために施錠保管する。  
子供の手の届かないところに保管する。  
火気、熱源から遠ざけて保管する。

- 避けるべき保管条件  
直射日光が当たる場所。屋根がない場所。高温になる場所、およびその隣接した場所。  
開封状態での保管。
- 配合禁忌  
消防法で定める混載禁止物質との同一保管は禁止。  
セットで販売している化学物質以外との配合は禁止。
- 容器包装材料  
適切な容器包装材料

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

- (トルエン) 20ppm
- (キシレン) 50ppm
- (酢酸ブチル) 150ppm
- (シクロヘキサノン) 20ppm

許容濃度

- (酸化チタン) ACGIH TLV: 10mg/m<sup>3</sup>
- (トルエン) ACGIH TLV: 20ppm
- (キシレン) ACGIH TLV: 100ppm
- (エチルベンゼン) ACGIH TLV: 10ppm
- (酢酸ブチル) ACGIH TLV: 150ppm
- (シクロヘキサノン) ACGIH TLV: 20ppm
- (Pigment Blue28(Coとして30%)) 0.02(Co)mg/m<sup>3</sup>

設備対策

- 労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。
- 取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

- 必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

- 保護手袋を着用する。
- 着用すべき手袋の材質: 不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

- 保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- 保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

- 取扱い後は、良く手洗いうがいをする。
- この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。
- 汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态 :液体

色 :グレー

臭い :溶剤臭有り

pH :該当しない

沸点範囲 : 110.60-144.40℃

融点/凝固点 :データなし

分解温度 :データなし  
引火点 : 4.00°C  
自然発火温度 : 370.00°C  
爆発特性 :引火又は爆発範囲  
    下限 :1.10Vol%  
    上限 :15.00Vol%  
蒸気圧 : 4893.00Pa (30.0°C)  
比重/密度 : 1.137/23°C  
粘度 :データなし  
水に対する溶解度 :データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

安定性  
    データなし  
危険有害反応可能性  
    セットの硬化剤(イソシアネート類)と反応する。  
混触危険物質  
    酸化剤  
危険有害な分解生成物  
    CO等の有害ガスが発生する恐れがある。

---

## 11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

(酸化チタン) 区分外 20000mg/kg  
(トルエン) 区分外 5000mg/kg  
(キシレン) 区分外 3500mg/kg  
(エチルベンゼン) 区分外 3500mg/kg  
(酢酸ブチル) 区分外 14130mg/kg  
(シクロヘキサノン) 区分4 1296mg/kg

経皮毒性成分データ

(酸化チタン) 区分外 10000mg/kg  
(トルエン) 区分外 12000mg/kg  
(エチルベンゼン) 区分外 15400mg/kg  
(酢酸ブチル) 区分外 17600mg/kg  
(シクロヘキサノン) 区分3 947mg/kg

吸入毒性(蒸気)成分データ

(トルエン) 区分4 4000ppm  
(キシレン) 区分4 6700ppm  
(エチルベンゼン) 区分4 4000ppm  
(シクロヘキサノン) 区分3 2450ppm

吸入毒性(吸入; 粉塵)成分データ

(シクロヘキサノン) 区分外 8000ppm

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

皮膚腐食性・刺激性成分データ

(トルエン) 区分2  
(キシレン) 区分2  
(エチルベンゼン) 区分3  
(シクロヘキサノン) 区分2

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ  
（酸化チタン）区分2B  
（トルエン）区分2B  
（キシレン）区分2A  
（エチルベンゼン）区分2B  
（酢酸ブチル）区分2B  
（シクロヘキサノン）区分2A

感作性  
皮膚感作性成分データ  
（シクロヘキサノン）区分1

生殖細胞変異原性  
生殖細胞変異原性成分データ  
（シクロヘキサノン）区分2

催奇形性 :データなし

発がん性  
発がん性成分データ  
（エチルベンゼン）区分2

生殖毒性  
生殖毒性成分データ  
（トルエン）区分1A  
（キシレン）区分1B  
（エチルベンゼン）区分1B  
（シクロヘキサノン）区分2

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響  
特定標的臓器(単回暴露)成分データ  
（トルエン）区分1（中枢神経系）  
（トルエン）区分3（気道刺激性、麻酔作用）  
（キシレン）区分1（呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓）  
（キシレン）区分3（麻酔作用）  
（エチルベンゼン）区分2（中枢神経系）  
（エチルベンゼン）区分3（気道刺激性）  
（酢酸ブチル）区分2（呼吸器、中枢神経系）  
（シクロヘキサノン）区分1（呼吸器系）  
（シクロヘキサノン）区分2（中枢神経系）  
（シクロヘキサノン）区分3（麻酔作用）

特定標的臓器(反復暴露)成分データ  
（トルエン）区分1（中枢神経系、腎臓）  
（キシレン）区分1（呼吸器、神経系）  
（シクロヘキサノン）区分1（中枢神経系、骨）

吸引性呼吸器有害性  
吸引性呼吸器有害性成分データ  
（トルエン）区分1  
（キシレン）区分2  
（エチルベンゼン）区分1

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性  
水生毒性  
水生毒性 成分データ  
（トルエン）急性毒性 区分2、慢性毒性 区分3  
（キシレン）急性毒性 区分2、慢性毒性 区分2  
（エチルベンゼン）急性毒性 区分1、慢性毒性 区分外  
（酢酸ブチル）急性毒性 区分3、慢性毒性 区分外

水溶解度 :データなし  
残留性・分解性 :データなし  
生体蓄積性 :データなし  
土壌中の移動性 :データなし  
オゾン層破壊物質 :データなし  
その他情報  
その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。  
特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

---

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄方法

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
廃塗料、廃溶剤、容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。  
容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。  
排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

#### 汚染容器及び包装

空容器は内容物を完全に除去してから処分する。  
特別管理産業廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。  
廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土に吸着させて、開放型の焼却炉で少量ずつ消却する。

---

### 14. 輸送上の注意

#### 国連番号、国連分類

国連番号 :1263  
クラス :3  
容器等級 :II  
正式品名 :塗料(Paint)

#### 指針番号 :128

#### 輸送の特定の安全対策及び条件

容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。火気厳禁。  
陸上輸送 :消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。  
海上輸送 :船舶安全法に定めるところに従う。  
航空輸送 :航空法に定めるところに従う。

---

### 15. 適用法令

#### 毒物及び劇物取締法

該当する化学品を意図的成分として含有せず、購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。

#### 労働安全衛生法

##### 施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物

トルエン; キシレン; エチルベンゼン; 酢酸ブチル; Pigment Blue28(Coとして30%)

##### 施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

酸化チタン; トルエン; キシレン; エチルベンゼン; 酢酸ブチル; シクロヘキサノン;  
Pigment Blue28(Coとして30%)

##### 別表第1 危険物 (第1条、第6条、第15条関係)

###### 引火性の物

##### 特定化学物質障害予防規則 第2類物質

エチルベンゼン; Pigment Blue28(Coとして30%)

##### 有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤

トルエン; キシレン; 酢酸ブチル



化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質:

トルエン; キシレン; エチルベンゼン; Pigment Blue28(Coとして30%)

消防法

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II 非水溶性液体

船舶安全法

引火性液体類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律:特別管理産業廃棄物

---

## 16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7253 (2012年)

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム (独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE)

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な手扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上